

葉色は大幅に低下！ 高温気象続く！ 追加穂肥と飽水管理で品質低下を防ごう！！

1 生育状況（葉色：SPAD 値）

○ コシヒカリの葉色は前回調査から大幅に低下し、多くのほ場では指標値に比べ淡い状況。

品種		7月26日	7月20日	7月8日
コシヒカリ (調査点数9)	本年値	31.9	33.9	36.2
	指標差	-1.4	+0.2	+0.4
新之助 (調査点数5)	本年値	33.1	34.3	36.7
	指標差	-0.9	+0.3	+0.7

2 今後の天気（7月24日～8月23日：新潟地方気象台7月22日発表）

【確率の高い予報(平年比)】 気温：高い 降水量：少ない 日照時間：並又は多い

3 「コシヒカリ」の穂肥対応

(1) 分施（基肥+穂肥）体系

ア 2回目穂肥は出穂期10日前に窒素成分で1.0～1.5kg/10aを確実に施用する。

イ 葉色の淡いほ場は下表を参考に3回目穂肥を実施する。

○ コシヒカリ3回目穂肥施用の判断基準、施肥時期及び施用量

栽培体系	使用肥料	3回目穂肥施用の判断基準 (葉色はSPAD値)	施肥時期 (出穂期)	施肥量 (窒素成分)
慣行	化学肥料	出穂期3日前の葉色：31以下	3日前	※1 1kg/10a
減減	有機50%肥料	出穂期6日前の葉色：33以下		
	有機100%肥料※2			

※1 葉色低下の大きいほ場や低地力ほ場では、施肥量を増やす。

※2 有機100%肥料を使用する場合、低地力ほ場では2kg/10aをめやすに施用する。

(2) 基肥一発施肥

葉色が急激に低下し、出穂期の葉色が32～33を下回ると予想される場合は直ち（遅くとも出穂期3日前まで）に窒素成分1～1.5kg/10aを追肥する。

出穂期25日後までは飽水管理を継続し
 強風・フェーン時はあらかじめ湛水しましょう！
 農作業時の熱中症対策は万全に！

